

10 ~ 12 月期業況はバブル崩壊後の最高水準を 9 年ぶりに更新

【特別調査 - 平成 18 年の経営見通し】

このレポートは、信用金庫が全国約 16,000 の中小企業の 2005 年 10 ~ 12 月期の景気の現状と 2006 年 1 ~ 3 月期の見通しを調査したものです。

概 況

1. 05 年 10 ~ 12 月期 (今期) の業況判断 D.I. は 9.6、7 ~ 9 月期 (前期) 比 6.5 ポイントのマイナス幅縮小と 3 四半期連続で改善し、バブル崩壊後の最高水準を更新しました。また、収益面では、前年同期比売上額および同収益判断 D.I. がそれぞれ小幅改善して 7.2、13.4 となりました。資金繰り判断 D.I. は 12.6 とバブル崩壊後の最高水準を 3 四半期連続で更新しました。設備投資実施企業割合は 20.2% と、前期に比べわずかに減少しました。なお、業種別の業況判断 D.I. では、全業種で改善となりました。

2. 06 年 1 ~ 3 月期 (来期) の予想業況判断 D.I. は 14.4 と、今期実績比 4.8 ポイントのマイナス幅拡大の見通しとなっています。例年、1 ~ 3 月期見通しはマイナス幅が拡大する傾向にありますが、拡大幅は前年同期 (5.4 ポイントのマイナス幅拡大) に比べると小幅にとどまっています。

【業種別天気図】

業種名 \ 時期	2005 年 7 ~ 9 月	2005 年 10 ~ 12 月	2006 年 1 ~ 3 月 (見通し)
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サ-ビス業			
建 設 業			
不動産業			

【地区別天気図 (今期分)】

業種名 \ 地域	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州北部	南九州
総 合											
製 造 業											
卸 売 業											
小 売 業											
サ-ビス業											
建 設 業											
不動産業											

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調



低調

全業種総合

回答企業 14,276 企業 (回答率 88.1%)

景況

～バブル崩壊後最高水準を9年ぶりに更新～

今期の業況判断 D.I. は 9.6 と、マイナス幅が前期比 6.5 ポイント縮小し、3 四半期連続の改善となりました。これまでは、バブル崩壊後の業況判断 D.I. の最高水準は 96 年 10～12 月期の 12.0 でしたが、今期はその値を 2.4 ポイント上回り、バブル崩壊後の最高水準を 9 年ぶりに更新しました。

また、前年同期比売上額判断 D.I. は 7.2、同収益判断 D.I. は 13.4 と、それぞれ前期比 3.5 ポイント、2.5 ポイント改善しました。

なお、前期比売上額判断 D.I. は 2.9 と、96 年 10～12 月期 (6.2) 以来 9 年ぶりにプラスに転換しました。同収益判断 D.I. は 5.3 とマイナスにとどまっていますが、マイナス幅は前期 (13.3) に比べ大幅に縮小しています。

販売価格判断 D.I. は 5.6 と、3 四半期連続でマイナス幅が縮小 (価格が下降したとする企業の割合が減少) しました。一方、仕入価格判断 D.I. は 19.3 と、3 四半期連続で上昇 (価格が上昇したとする企業の割合が増加) しました。

雇用面では、人手過不足判断 D.I. が 9.5 と、2 四半期連続で人手不足感が強まりました。

資金繰り判断 D.I. は 12.6 と、マイナス幅が 2.1 ポイント縮小し、バブル崩壊後の最高水準を 3 四半期連続で更新しました。

一方、設備投資実施企業割合は 20.2% と、前期 (20.8%) に比べわずかに減少しました。

業種別の業況判断 D.I. は、すべての業種で改善し、なかでも製造業 (1.0) と不動産業 (0.9) は、プラス転換も視野に入る水準となりました。

地域別には、全 11 地域で業況判断 D.I. が改善しました。なかでも、九州北部は前期比 8.9 ポイント改善し、プラス (0.4) に転換しました。

来期の見通し

～小幅のマイナス幅拡大にとどまる見通し～

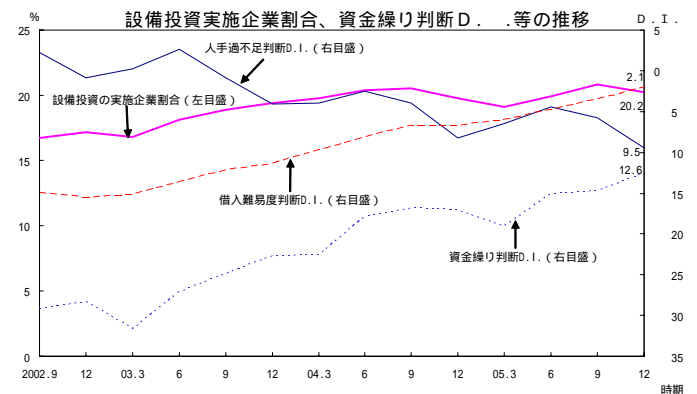
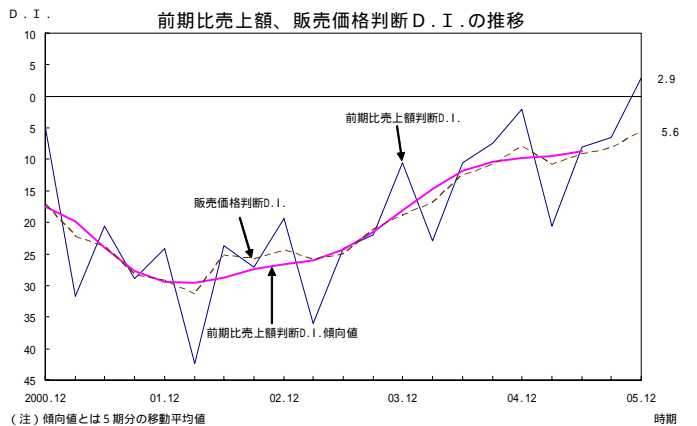
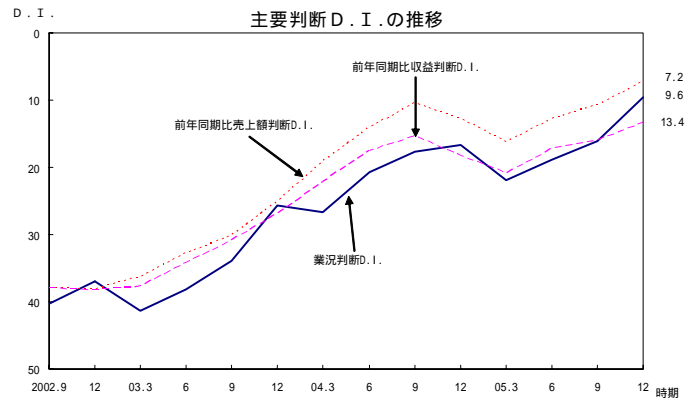
来期の予想業況判断 D.I. は、今期実績に比べマイナス幅が 4.8 ポイント拡大し、14.4 となっています。例年 1～3 月期見通しは前期実績比でマイナス幅が拡大する傾向にありますが、拡大幅は前年同期

(5.4 ポイントのマイナス幅拡大) に比べ小幅にとどまっています。

また、予想前期比売上額判断 D.I. は 11.9、同収益判断 D.I. は 15.4 と季節要因からマイナス幅拡大の見通しとなっています。

なお、業種別の予想業況判断 D.I. は、小売業で小幅 (0.2 ポイント) な改善、不動産業で横ばいが見込まれている一方、他の 4 業種では 4～8 ポイント程度のマイナス幅拡大が見込まれています。

また地域別では、首都圏で改善 (今期実績比 0.6 ポイント改善の 13.5) が見込まれている一方、他の地域では 2～20 ポイント程度のマイナス幅拡大が見込まれています。



製造業

回答企業 5,039 企業 (回答率 90.0%)

景況

～業況改善でD.I.はプラス転換も視野に～
 今期の業況判断D.I.は 1.0、前期比 8.0 ポイントの改善となりました。例年 10～12 月期は季節的にマインドが改善する時期にあたりますが（過去 10 年の平均プラス拡大幅 6.8）、今回はこれを上回る改善で、プラス転換も視野に入る水準となりました。

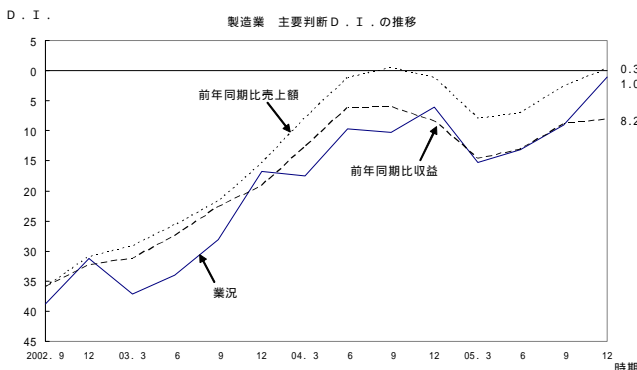
また、前年同期比売上額および同収益の判断D.I.は、それぞれ、2.9、0.7 ポイント改善して 0.3、8.2 と、ともに 3 四半期連続の改善となり、緩やかながら改善基調が続いています。

なお、前期比の売上額および同収益判断D.I.は、それぞれ 12.8、9.0 ポイント改善し、11.0、0.5 となりました。

～人手不足感は 92 年以来の高水準～

設備投資実施企業割合は 24.0%と、前期の 25.4%から 1.4 ポイント低下しましたが、比較的高い水準を維持しています。人手過不足判断D.I.は 10.6 となりました。前期（7.5）に引き続き人手不足感がさらに高まり、92 年 10～12 月期（15.9）以来の高水準となりました。また、残業時間判断D.I.は前期の 0.6 から 5.3 となり、4 四半期ぶりに減少から増加に転じました。

販売価格判断D.I.は、前期 5.9 から 3.2 とマイナス幅が縮小しデフレ収束傾向にあります。また、原材料（仕入）価格判断D.I.もプラス 30.9（前期 30.0）と高水準ながらほぼ横ばいとなりました。ちなみに「経営上の問題点」として「原材料高」を挙げる企業の割合もほぼ横ばいとなりました（前々期 24.0%、前期 25.4%、今期 25.1%）。資金繰り判断D.I.は 9.5（前期は 11.6）と、やや改善しました。



業種別の状況

～大半の業種で改善～

今期の業種別業況判断D.I.は、製造業 22 業種中、悪化 3 業種に対して改善 19 業種と、消費財関連など一部の業種を除いて改善となりました。

素材型業種は 7 業種全てが改善しました。非鉄、化学の改善が目立ち、鉄鋼は 31.5、非鉄は 17.0 と高いプラス水準となりました。

部品加工型業種では 3 業種すべてが改善しプラス水準となりました。

建設関連型業種では 4 業種すべてが改善し、特に建設金属は大幅な改善によりプラスに転じました。

機械器具型業種は輸送用機器で小幅の悪化となったものの、全 4 業種が高いプラス水準となりました。

消費財型業種は衣服、印刷がやや悪化し、食料品、玩具が大幅な改善となりました。

業種別業況判断D.I.の推移

		D.I.									
		50	40	30	20	10	0	10	20	30	40
素材型	繊維	→									
	化学	→									
	皮製品	→									
	ゴム	→									
	鉄鋼	→									
	非鉄金属	→									
	紙・パルプ	→									
部品加工型	プラスチック	→									
	金属製品	→									
	金属プレス・メッキ	→									
建設関連型	窯業・土石	→									
	建設建築用金属	→									
	木材・木製品	→									
機械器具型	家具・装備品	→									
	一般機械	→									
	電気機械	→									
消費財型	輸送用機器	→									
	精密機械	→									
	衣服その他	←									
	食料品	→									
消費財型	玩具・スポーツ	→									
	出版・印刷	←									
全業種平均		→									

前期 (2005年7～9月期) 今期 (2005年10～12月期)

属性・規模別の状況

～輸出主力型、内需主力型とも改善～

販売先形態別の業況判断D.I.は、いずれも改善しましたが、大メーカー型のプラス水準が 23.9（前期 12.8）とさらに高まりました。

内需主力型の業況判断D.I.が前期比 7.3 ポイント改善する一方、輸出主力型も同 16.9 ポイントと大き

く改善した結果、D.I.の水準は輸出主力型が24.3(内需主力型 1.8)と相対的に高水準となっています。

従業員規模別の業況判断D.I.は、いずれの従業員規模においても改善しましたが、従業員規模間の格差はやや拡大しました。ちなみに従業員規模別の業況判断D.I.の水準は、1~19人が11.1、20~49人が12.7、50~99人が12.2、100人以上は21.8となっています。

地域別の状況

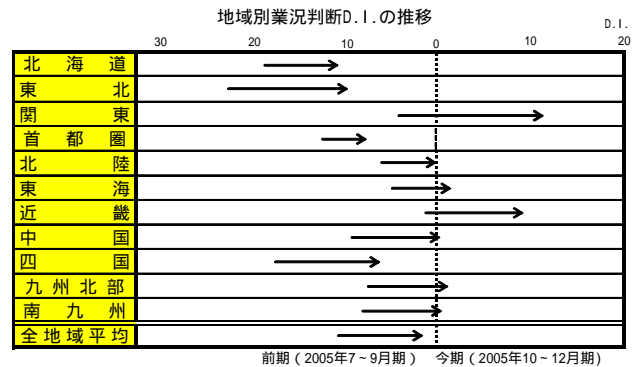
～関東、近畿など7地域でプラス～

地域別の業況判断D.I.は、11地域すべてで改善しました。特に、関東、近畿など7地域でD.I.の水準がプラスになり、特に関東、近畿では改善幅も大きく、その水準もそれぞれ11.7、9.6と相対的に高いものとなっています。一方、北海道、東北など4地域のD.I.はマイナス水準にとどまっています。

来期の見通し

～業況は季節要因からマイナス幅拡大～

来期の予想業況判断D.I.は8.1、今期実績比7.1ポイントのマイナス幅拡大を見込んでいます。拡大幅は過去10年の平均(8.7)に比べてやや小さく、季節要因の範囲内といえます。予想前期比売上額判断D.I.は8.1、同収益判断D.I.は12.2と、それぞれ季節要因から今期実績比19.1、12.7ポイントの水準低下を見込んでいます。業種・地域別にもその大半が水準低下の見通しとなっています。



卸売業

回答企業 1,948 企業 (回答率 85.4%)

景況

～3四半期連続で改善～

今期の業況判断D.I.は8.7、前期比5.7ポイントのマイナス幅縮小と、3四半期連続の改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.I.は8.2、同収益判断D.I.は10.7と、それぞれ前期比2.6ポイント、同2.4ポイントの改善となりました。

業種・地域別の状況

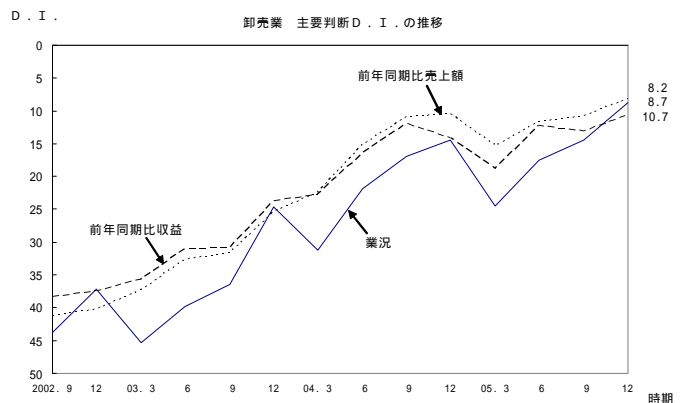
～15業種中10業種が改善～

業種別の業況判断D.I.は、15業種中、10業種で改善、5業種で悪化となりました。とりわけ、今期の業況判断D.I.がプラス水準にある鉱物・燃料などの4業種は、いずれも改善しました。地域別では、11地域中、北海道と四国を除く9地域で改善し、とりわけ九州北部でプラス転換となりました。

来期の見通し

～改善一服の見通し～

来期の予想業況判断D.I.は16.3、今期実績比7.6ポイントのマイナス幅拡大と、改善一服を見込んでいます。業種別には、15業種中、改善を見込んでいるのは貴金属、家具など3業種のみとなっています。地域別では、11地域すべてで、今期実績に比べ水準が低下する見通しとなっています。



小売業

回答企業 2,683 企業 (回答率 88.7%)

景況

～緩やかな改善基調を継続～

今期の業況判断 D.I. は 26.6 と、マイナス幅が前期比 4.3 ポイント縮小し、緩やかな改善基調を継続しました。また、前年同期比売上額判断 D.I. は 22.3、同収益判断 D.I. は 26.7 と、それぞれマイナス幅が前期比 2.3 ポイント、同 2.7 ポイントの縮小となりました。

業種・地域別の状況

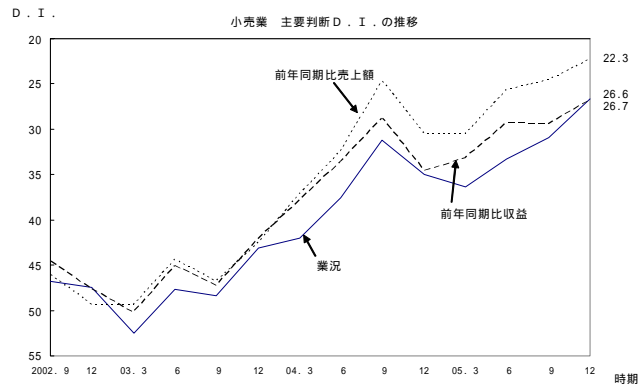
～13 業種中 8 業種で改善～

業種別の業況判断 D.I. は、13 業種中、燃料、書籍文具などの 8 業種で改善、家電など 5 業種で悪化と、業種によってまちまちとなりました。地域別では、11 地域中、関東を除く 10 地域で業況判断 D.I. が改善しました。業況判断 D.I. の水準をみると、九州北部が大幅改善してゼロ近辺 (2.2) まで回復したほか、東海、近畿、中国、南九州も 10 台まで改善が進みました。

来期の見通し

～小幅改善の見通し～

来期の予想業況判断 D.I. は 26.4 と、今期実績比 0.2 ポイントの小幅改善を予想しています。これを業種別にみると、13 業種中、改善 7 業種、横ばい 1 業種、悪化 5 業種とまちまちの見通しとなっています。地域別には、首都圏、東海、近畿、四国で改善が見込まれているものの、それ以外の地域では横ばいないしは悪化の見通しとなっています。



サービス業

回答企業 1,680 企業 (回答率 87.1%)

景況

～2 四半期ぶりに業況改善～

今期の業況判断 D.I. は 14.3 と、マイナス幅が前期比 6.3 ポイント縮小し、2 四半期ぶりの改善となりました。前年同期比売上額判断 D.I. は、マイナス幅が前期比 3.7 ポイント縮小して 12.4、同収益判断 D.I. もマイナス幅が同 1.9 ポイント縮小して 18.2 となりました。

業種・地域別の状況

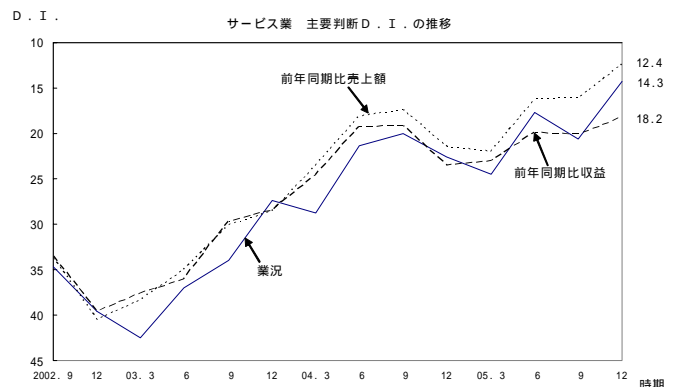
～総じて改善～

業種別の業況判断 D.I. は、8 業種中、洗濯・理容・浴場を除く 7 業種で改善しました。とりわけ、情報・調査・広告の業況判断 D.I. が大幅改善してプラス 10.7 となりました。一方、地域別には、11 地域中、北海道と東海を除く 9 地域で改善しました。従業員規模別では、全階層でマイナス幅が縮小し、とりわけ 40 人以上ではプラス転換となりました。

来期の見通し

～小幅のマイナス幅拡大の見通し～

来期の予想業況判断 D.I. は 18.6 と、今期実績比 4.3 ポイントの小幅なマイナス幅拡大を見込んでいます。業種別では、8 業種中、改善は 4 業種にとどまるなど、まちまちの見通しとなりました。地域別では、11 地域中、首都圏と北陸および九州北部を除く 8 地域でマイナス幅拡大が見込まれています。



建設業

回答企業 1,940 企業 (回答率 87.7%)

景況

～業況は2四半期連続の改善～

今期の業況判断D.I.は 9.5、前期比9.1ポイントマイナス幅が縮小し、2四半期連続の改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.I.と同収益判断D.I.は、それぞれマイナス幅が3四半期連続で縮小して、5.9、14.5となりました。なお、前期比受注残判断D.I.は大幅改善してプラス転換(1.7)となりました。

請負先・地域別の状況

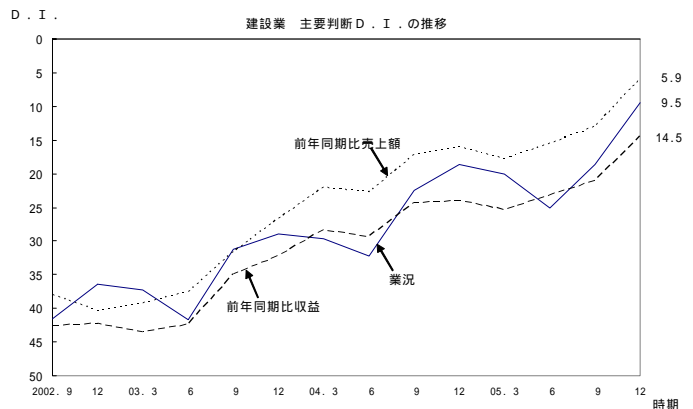
～地域別では四国を除き改善～

請負先別の業況判断D.I.では、大企業向けが9.3と、前期比10.1ポイントの大幅な改善となりました。一方、官公庁向けは19.4と、同12.6ポイント改善しましたが、なお民間向けと大きな水準格差がみられます。地域別では、全11地域のうち四国を除く10地域で改善となり、九州北部がプラス転換しました。

来期の見通し

～小幅のマイナス幅拡大を予想～

来期の予想業況判断D.I.は15.2と、季節要因もあって今期実績比5.7ポイントのマイナス幅拡大を見込んでいます。請負先別では、改善見通しの大企業向け(10.6)を除きマイナス幅拡大の見通しです。また、地域別では、全11地域中、首都圏、中国、四国など5地域が改善を見込む反面、北海道、東北など6地域では水準低下の見通しとなっています。



不動産業

回答企業 986 企業 (回答率 84.6%)

景況

～売上・収益の判断D.I.がプラス転換～

今期の業況判断D.I.は0.9、前期比1.7ポイントの改善となりました。また、前年同期比売上額判断D.I.は3.4、同収益判断D.I.は1.9と、前期比それぞれ3.9ポイント、5.1ポイント改善し、ともにプラス転換となりました。

規模・地域別の状況

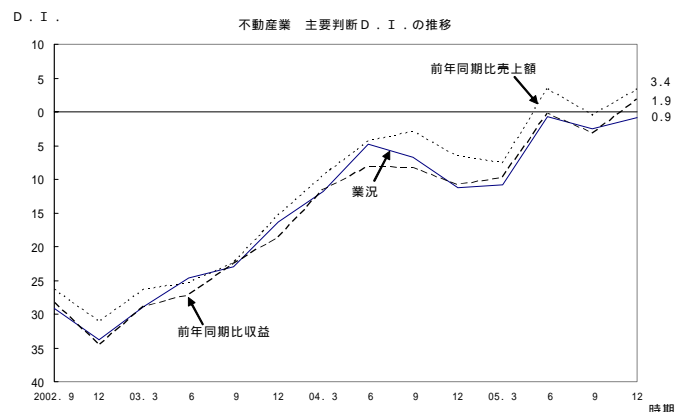
～全11地域中6地域で業況が改善～

従業員規模別の業況判断D.I.は、規模が大きくなるにつれて好感が強まる傾向にありますが、このところ、階層間格差に縮小の動きもみられます。一方、地域別の業況判断D.I.は、全11地域中、6地域で業況が改善しました。とりわけ、今期は北海道、南九州がプラス転換したほか、首都圏、近畿、九州北部では引き続きプラス水準を維持しています。

来期の見通し

～全11地域中7地域でプラス水準を見込む～

来期の予想業況判断D.I.は0.9、今期実績比横ばいの見通しとなっています。地域別では、東海、中国、四国でプラス転換を見込んでいるほか、首都圏、近畿、九州北部、南九州でも今期に引続きプラス水準を維持する見込みです。



4分の1の中小企業が今年を業況の転換点と認識

自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」の回答割合が12.6%となり、1年前の調査(10.9%)に比べ1.7ポイント上昇しました。また、「6か月以内」と「1年後」の回答割合の合計は25.5%となっており、中小企業の4分の1強は平成18年を業況改善の転換点と認識しています。

もっとも、「業況改善の見通しは立たない」の回答割合も24.9%と、少なくないのも事実です。これを従業員規模別にみると1~4人の階層(36.6%)で、業種別にみると小売業(34.5%)で、それぞれ高くなっています。

12%強の企業は「職場体験要請」を受け入れ済み

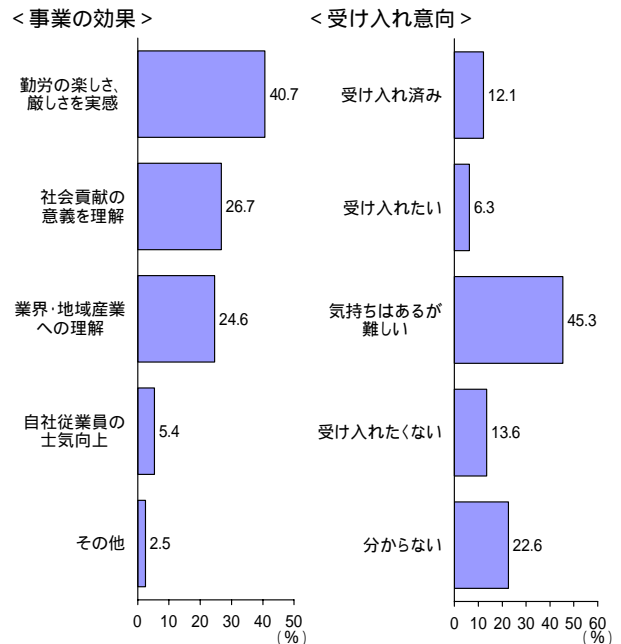
若者の勤労意欲の低下が危惧される状況下、一部の自治体等は、“将来に備える”観点から、小中学生を対象とした職場体験事業を開始しています。

当該事業の効果について中小企業に尋ねたところ、「勤労の楽しさ、厳しさを実感する」が40.7%と最も高く、次いで「社会に貢献することの意義を理解する」が26.7%でした。また、職場体験の要請を受け入れる意向があるかどうかについては、「受け入れたい気持ちはあるが、難しい」が45.3%、「受け入れたくない」が13.6%を占めました。ただ、その一方で、「受け入れ済み(実施予定を含む)」が12.1%、「ぜひ受け入れたい」が6.3%となっており、2割弱の中小企業は積極的に対処する方針を示しています。「受け入れ済み」と「ぜひ受け入れたい」の回答割合の合計を地域別にみると、高い順に関東(30.0%)、東北(29.0%)、中国(27.3%)となっています。

(図表4) 自社の業況が上向き転換点

		(単位:%)						
		すでに上向き	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しなし
全体	18年見通し	12.6	9.0	16.5	14.1	12.5	10.4	24.9
	17年見通し	10.9	7.8	15.8	13.7	13.4	11.7	26.7
	16年見通し	8.3	7.9	15.2	15.1	13.9	13.2	26.4
	15年見通し	5.5	6.2	14.3	14.7	14.8	15.1	29.4
規模別	1~4人	6.1	5.5	13.8	13.2	12.9	12.0	36.6
	5~9人	11.2	9.0	16.2	14.1	13.4	10.8	25.3
	10~19人	13.9	10.5	18.6	14.0	13.4	10.4	19.1
	20~29人	16.0	10.6	18.5	14.7	12.2	9.4	18.5
	30~39人	20.6	13.1	16.1	14.1	11.0	10.3	14.9
	40~49人	19.8	13.3	20.9	16.3	10.0	7.6	12.3
	50~99人	23.0	12.0	18.1	15.3	10.7	7.5	13.3
	100~199人	27.9	12.3	19.6	17.9	10.0	4.7	7.6
業種別	200~300人	29.8	21.0	14.5	11.3	12.9	2.4	8.1
	製造業	17.6	10.1	16.7	13.9	11.3	9.4	21.0
	卸売業	12.6	10.0	17.6	13.7	11.2	10.4	24.5
	小売業	6.2	6.6	14.7	13.0	13.5	11.6	34.5
	サービス業	10.7	8.2	15.8	13.3	12.7	11.3	28.2
	建設業	9.0	7.8	15.9	16.6	15.7	11.9	23.0
不動産業	15.5	12.4	20.3	15.0	12.1	7.8	17.0	

(図表5) 職場体験事業について



調査員のコメントから

主力の自動車テールランプ向けに加え最近ではピアノ鍵盤のコーティングも手がけ業績好調です。(プラスチック成型品製造 新潟県)
 ウォルビスに関する問合せが多いため、売上増加につながるべく営業努力しています。(ニット衣料製造 山梨県)
 価格競争から取引解消となっていた大手業者との取引が安定供給能力から復活しました。(玩具等卸 北海道)
 プラズマテレビなどの高額な商品が動き始めており、今期売上は増加の見込みです。(電化製品販売 滋賀県)

台風の影響で通行止めとなっていた山陽自動車道の復旧等で今後の業況改善が見込まれます。(旅館業 山口県)
 小規模でも利益率の高い工事の受注増加に努め、今期の業況は上向きです。(空調・給排水設備工事業 兵庫県)
 図書館、学校等のアスベスト除去工事増加で今後の売上・収益の拡大が期待されます。(総合建設業 青森県)
 インターネットを通じて都会暮らしの人々に田舎の良さを強くPRしています。(注文建築・不動産業 和歌山県)

調査の要領

全国中小企業景気動向調査

- 1) 調査時点 2005年12月1日~12月7日
- 2) 調査方法 全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
- 3) 分析方法 各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当研究所が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。

【お詫びと訂正】

「中小企業景況レポート」No.121におきまして、回答企業数の相違がありました。お詫びして訂正いたします。
 製造業:(正)5,108、(誤)5,602、卸売業:(正)1,996、(誤)2,281、小売業:(正)2,721、(誤)3,025、サービス業:(正)1,704、(誤)1,928、建設業:(正)1,956、(誤)2,211、不動産業:(正)984、(誤)1,165。なお、回答率に相違はございません。